

# 東大数学2025大問3 o3-mini-high

以下の問に答えてください。日本の大学入試の問題で、TeX形式で与えられます。可能な限り慎重に、じっくり、よくよく考えて、くれぐれもミスや勘違いをしないようにお願いします。

\section\*{問3}

平行四辺形 $ABCD$ において、 $\angle ABC = \frac{\pi}{6}$ ,

$AB = a$ ,

$BC = b$ ,

$a \leq b$

とする。次の条件を満たす長方形  $EFGH$  を考え、その面積を  $S$  とする。

条件: 点  $A, B, C, D$  はそれぞれ辺  $EF, FG, GH, HE$  上にある。

ただし、辺はその両端の点も含むものとする。

(1)  $\angle BCG = \theta$  とするとき、 $S$  を  $a, b, \theta$  を用いて表せ。

(2)  $S$  のとりうる値の最大値を  $a, b$  を用いて表せ。

以下の解答例は、求める面積  $S$  を  $a, b, \theta$  を用いて表し、さらにその最大値を求めたものです。以下、解答の経過とともに示します。

## 問題設定の整理

平行四辺形  $ABCD$  は

- $\angle ABC = \pi/6$
- $AB = a, BC = b \ (a \leq b)$

とし、また、長方形  $EFGH$  の各辺上に、

$$A \in EF, \quad B \in FG, \quad C \in GH, \quad D \in HE$$

となるように  $ABCD$  を内接させる。このとき、長方形の面積を  $S$  とし、さらに点  $G$  を頂点とする角  $\angle BCG = \theta$  とする。

## 長方形の座標表示と点の位置

長方形 $EFGH$ を座標平面上に配置するため、

$$E = (0, 0), \quad F = (L, 0), \quad G = (L, M), \quad H = (0, M)$$

ととります。すると、各点は以下のように表せます：

- $A \in EF$ なので、 $A = (x_A, 0)$
- $B \in FG$ なので、 $B = (L, y_B)$
- $C \in GH$ なので、 $C = (x_C, M)$
- $D \in HE$ なので、 $D = (0, y_D)$

また、平行四辺形の対角線の中点が一致することより、

$$x_A + x_C = L, \quad y_B + y_D = M.$$

---

## 平行四辺形の辺と角の条件

1.  $AB = a$

$$AB = B - A = (L - x_A, y_B - 0) = (L - x_A, y_B) \text{より,}$$

$$(L - x_A)^2 + y_B^2 = a^2.$$

2.  $BC = b$

$$BC = C - B = (x_C - L, M - y_B) \text{より,}$$

$$(x_C - L)^2 + (M - y_B)^2 = b^2.$$

※ただし $(x_C - L)^2 = (L - x_C)^2$ です。 3.  $\angle ABC = \pi/6$

角 $ABC$ は、 $BA$ と $BC$ のなす角。  $BA = A - B = (x_A - L, -y_B)$ と $BC = C - B = (x_C - L, M - y_B)$ とすると、

$$\frac{(x_A - L)(x_C - L) - y_B(M - y_B)}{ab} = \cos \frac{\pi}{6} = \frac{\sqrt{3}}{2}.$$

(この関係は後ほど用います.)

4.  $\theta = \angle BCG$

$$B = (L, y_B), \quad C = (x_C, M), \quad G = (L, M) \text{なので,}$$

$$\vec{CB} = B - C = (L - x_C, y_B - M), \quad \vec{CG} = G - C = (L - x_C, 0).$$

よって,

$$\tan \theta = \frac{|y_B - M|}{L - x_C}.$$

( $M \geq y_B$ なので,  $M - y_B = L - x_C \tan \theta$ と書けます.)

この関係から, 式

$$(x_C - L)^2 + (M - y_B)^2 = (L - x_C)^2 (1 + \tan^2 \theta) = (L - x_C)^2 \sec^2 \theta$$

とおき,  $b^2 = (L - x_C)^2 \sec^2 \theta$ より,

$$L - x_C = b \cos \theta, \quad \text{すなわち} \quad x_C = L - b \cos \theta.$$

また,  $M - y_B = b \sin \theta$ となり,

$$y_B = M - b \sin \theta.$$

## 平行四辺形の辺 $AB$ の方向

$A$ と $B$ の座標は

$$A = (x_A, 0), \quad B = (L, M - b \sin \theta).$$

また, 平行四辺形の対辺条件から $x_A + x_C = L$ より,

$$x_A = L - x_C = L - (L - b \cos \theta) = b \cos \theta.$$

よって,

$$A = (b \cos \theta, 0).$$

また,

$$AB = B - A = (L - b \cos \theta, M - b \sin \theta).$$

その大きさが $a$ であるので,

$$(L - b \cos \theta)^2 + (M - b \sin \theta)^2 = a^2.$$

ここで,  $AB$ の向きについて, 水平成分 $L - b \cos \theta$ と鉛直成分 $M - b \sin \theta$ を考え,

$$L - b \cos \theta = a \cos \varphi, \quad M - b \sin \theta = a \sin \varphi,$$

と書くと、 $\varphi$ は $AB$ のなす角です.

---

## dot積からの関係式と $\varphi$ の決定

先に、 $\angle ABC = \pi/6$ より、

$$\frac{(x_A - L)(x_C - L) - y_B(M - y_B)}{ab} = \frac{\sqrt{3}}{2}.$$

実際に $x_A = L - b \cos \theta$ および $x_C = L - b \cos \theta$ 、 $y_B = M - b \sin \theta$ を代入すると、

$$(L \cos \theta - M \sin \theta) - b \cos 2\theta = \frac{a\sqrt{3}}{b},$$

あるいは

$$L \cos \theta - M \sin \theta = a \frac{\sqrt{3}}{2} + b \cos 2\theta.$$

一方、 $L$ と $M$ は

$$L = b \cos \theta + a \cos \varphi, \quad M = b \sin \theta + a \sin \varphi.$$

よって、

$$L \cos \theta - M \sin \theta = b(\cos^2 \theta - \sin^2 \theta) + a(\cos \varphi \cos \theta - \sin \varphi \sin \theta) = b \cos 2\theta + a \cos(\varphi + \theta).$$

これが先の式と一致するので、

$$b \cos 2\theta + a \cos(\varphi + \theta) = a \frac{\sqrt{3}}{2} + b \cos 2\theta,$$

すなわち

$$a \cos(\varphi + \theta) = a \frac{\sqrt{3}}{2}.$$

( $a \neq 0$ より)  $\cos(\varphi + \theta) = \frac{\sqrt{3}}{2}$ となり、

$$\varphi + \theta = \frac{\pi}{6} \quad (\text{ただし } \varphi + \theta \in [0, \pi] \text{ と考えれば}).$$

よって、

$$\varphi = \frac{\pi}{6} - \theta.$$

---

## 長方形の辺 $L, M$ の決定と面積 $S$ の表示

先ほどの関係より、

$$L = b \cos \theta + a \cos \left( \frac{\pi}{6} - \theta \right), \quad M = b \sin \theta + a \sin \left( \frac{\pi}{6} - \theta \right).$$

したがって、長方形の面積は

$$S = L \cdot M = \left( b \cos \theta + a \cos \left( \frac{\pi}{6} - \theta \right) \right) \left( b \sin \theta + a \sin \left( \frac{\pi}{6} - \theta \right) \right).$$

これは(1)の答えとして求める形です.

また、この積を展開すると

$$\begin{aligned} S &= b^2 \cos \theta \sin \theta + a b \left[ \cos \theta \sin \left( \frac{\pi}{6} - \theta \right) + \sin \theta \cos \left( \frac{\pi}{6} - \theta \right) \right] + a^2 \cos \left( \frac{\pi}{6} - \theta \right) \sin \left( \frac{\pi}{6} - \theta \right) \\ &= \frac{b^2}{2} \sin 2\theta + \frac{ab}{2} + \frac{a^2}{2} \sin \left( \frac{\pi}{3} - 2\theta \right), \end{aligned}$$

すなわち

$$S = \frac{1}{2} \left\{ ab + b^2 \sin 2\theta + a^2 \sin \left( \frac{\pi}{3} - 2\theta \right) \right\}.$$

これが(1)の解答例です。

---

## $S$ の最大値の決定

$S$ は $\theta$ に依存するので、 $S$ を最大にする $\theta$ を考えます. 上記の式から

$$S = \frac{1}{2} \left\{ ab + f(\theta) \right\}, \quad \text{ただし} \quad f(\theta) = b^2 \sin 2\theta + a^2 \sin \left( \frac{\pi}{3} - 2\theta \right).$$

変数 $x = 2\theta$ と置くと、

$$f(x) = b^2 \sin x + a^2 \sin \left( \frac{\pi}{3} - x \right).$$

展開すると、

$$\sin \left( \frac{\pi}{3} - x \right) = \sin \frac{\pi}{3} \cos x - \cos \frac{\pi}{3} \sin x = \frac{\sqrt{3}}{2} \cos x - \frac{1}{2} \sin x,$$

よって

$$f(x) = \left( b^2 - \frac{a^2}{2} \right) \sin x + \frac{a^2 \sqrt{3}}{2} \cos x.$$

この形は  $A \sin x + B \cos x$  と書け、最大値は

$$\sqrt{A^2 + B^2} = \sqrt{\left(b^2 - \frac{a^2}{2}\right)^2 + \left(\frac{a^2\sqrt{3}}{2}\right)^2}.$$

実際に計算すると

$$\begin{aligned}\left(b^2 - \frac{a^2}{2}\right)^2 + \left(\frac{a^2\sqrt{3}}{2}\right)^2 &= b^4 - a^2b^2 + \frac{a^4}{4} + \frac{3a^4}{4} \\ &= b^4 - a^2b^2 + a^4.\end{aligned}$$

すなわち、

$$\max_x f(x) = \sqrt{b^4 - a^2b^2 + a^4}.$$

したがって、 $S$ の最大値は

$$S_{\max} = \frac{1}{2} \left\{ ab + \sqrt{a^4 - a^2b^2 + b^4} \right\}.$$

よって、(2)の解答は

$$S_{\max} = \frac{ab + \sqrt{a^4 - a^2b^2 + b^4}}{2}.$$

---

## 最終解答

(1)  $S$ を $a, b, \theta$ を用いて表すと

$$S = \left(b \cos \theta + a \cos \left(\frac{\pi}{6} - \theta\right)\right) \left(b \sin \theta + a \sin \left(\frac{\pi}{6} - \theta\right)\right) = \frac{1}{2} \left\{ ab + b^2 \sin 2\theta + a^2 \sin \left(\frac{\pi}{3} - 2\theta\right) \right\}.$$

(2)  $S$ のとりうる値の最大値は

$$S_{\max} = \frac{ab + \sqrt{a^4 - a^2b^2 + b^4}}{2}.$$

---

※ この解答例は、幾何学的な考察と座標表示による解析から導かれる一例であり、同値変形や別の考え方による解答も認められます。